

2014年西日本ブロックフライボール競技会

開催日 2014年11月23日(日)

審査員長 池上 行雄

※受付時間及び競技開始時間にご注意ください。

出陳料

チーム競技

1チーム 10,000円

個人競技

1頭 6,000円

実施要領

申込開始 2014年 10 月20日(月)

申込締切 2014年 11 月4日(火)

※当日申込み及び FAX での受付は致しません。

1. チーム・ハンドラー・出陳犬の資格

<チーム・ハンドラーの資格>

①チームの代表者は、本会のクラブ会員とします。

②ハンドラーは、本会のクラブ会員並びにその家族とします。

<出陳犬の資格>

①出陳犬は、クラブ会員所有の生後12カ月1日以上の本会登録犬とします。②「交雑犬」、「本会の非公認犬種」及び「本会の非公認団体登録犬」につきましては、個人競技に限り出陳できます。(クラブ会員所

有で生後12カ月1日以上であること)ただし、フライボールチャンピオン資格犬にはなりませんので、フライボールチャンピオン(F B、C H.)ポイントカードは付与されません。

③伝染病・皮膚病など健康上の危惧がある犬、跛行の犬、咬癖のある犬は出陳することはできません。

④発情した犬は可個人競技に限って出陳することができますが、当該カテゴリーの最後に競技することとします。

⑤出陳犬の首輪は競技中に危険が及ばないことを原則とし、緩んだ状態が維持できる平首輪(フラット・カラー)または胴輪(ハーネス)とします。

2. 競技用具

原則として、全て本会指定の用具とします。

①ボックスに関しましては、本会でも用意いたします。

ボールの飛行曲線が、ボックス上部のソフトカバーに触れることのないように調整してください。

②ボールは原則として、空気の抜けていない正規のテニスボールとします。ただし、犬のサイズを考慮し、危険性のない弾むボールで審査員長が認めた場合は使用することができます。

③ハードルの高さ(上部カバーの厚みは含まない)は、スモール20cm、ミディアム30cm、ラージ40cmとします。

④チーム競技において、ハードルの高さは当該チームの中で最も体高の低い犬のカテゴリーの高さとなります。

3. 競技種目

チーム競技と個人競技の2種目とします。

<チーム>

1チームは4名のハンドラーと4頭の犬とし、予備の犬を1頭以上用意します。

<個人>

①1名のハンドラーと1頭の犬とします。

②出陳犬の体高により次の3つのカテゴリーに分割します。

(1) スモール (体高35 cm未満の犬)

(2) ミディアム (体高35 cm以上45 cm未満の犬)

(3) ラージ (体高45 cm以上の犬)

4. 競技

競技は2レーンで2チーム(2頭)が行います。

<チーム>

①2チーム以上の出陳申込みがあった場合に行われます。

②参加チーム数が3チーム以下の場合、リーグ戦(総当り)とし、4チーム以上の場合、トーナメント戦(勝ち上がり)とします。

③組み合わせ及び使用するレーンは抽選とします。

④1ヒートごとのレーンチェンジは行いません。

⑤トーナメント戦において、3席及び4席は、決定戦によって決定します。5席は当該席次が対象となるヒートのタイムによって決定します。

⑥ヒートを3回行い、2回勝ったチームが当該競技の勝利チームとなります。

⑦リーグ戦で勝敗が同率の場合は、ヒート勝率によって決定します。ヒート勝率も同率の場合は、ヒートのベストタイムによって決定します。

<個人>

①8頭以上の出陳申込みがあった場合に行われます。

②ヒートで使用するレーンは予め本部にて決定します。

③1ヒートごとのレーンチェンジは行いません。

④全てヒートを3回連続行い、その内最も速いタイムを当該犬のベストタイムとします。

⑤スモール・ミディアム・ラージの各カテゴリー毎にベストタイムによって席次を決定します。

⑥同タイムの場合は、犬の年齢が若い方を上位とします。

5. ヒート

<チーム>

①ヒートのスタートは、メインジャッジの合図で開始します。

②スタートの合図の前に犬の身体のいずれかの部分がスタート。フィニッシュライン(2本のスタートフィニッシュポールを結ぶ架空の線)を越えた場合は、再度スタートとなります。

ただし、二度続いた場合は、当該犬はフライングとなります。

③犬は静止した体勢、またはランニングの体勢からスタートすることができます。

④犬は4つのハードルを跳び越え、ボックスのペダルを踏み、ボールを唾えたまま4つのハードルを跳び越え、戻ってくるものとします。

⑤走行中の犬の身体の一部がスタート。フィニッシュラインを越えた時、次の犬がスタートすることができます。

万一、これに違反した場合、当該犬はフライングとなります。

⑥走行中の犬が、ハードルを転倒させた場合は、そのハードルが立っていると仮定して跳び越えていれば失敗とはなりません。ただし、メンバーは走行の妨害又は誘導とならない限り、ハードルを立て直すことがで

実施要領

きます。

⑦4頭目の犬(又は、再度走らなければならなかった犬)の身体の一部がスタート・フィニッシュラインを先に通過したチームが、そのヒートの勝者となります。

⑧ヒートの終了は、両チームの4頭目の犬がフィニッシュした時とします。

<個人>

①ヒートのスタートは、メインジャッジの合図で開始します。

②スタートの合図の前に犬の身体の内側の部分(又は、フィニッシュラインを越えた場合は)再度スタートとなります。ただし、二度続いた場合は当該ヒートは無効と判断されます。

③犬は静止した体勢、又はランニングの体勢からスタートすることができます。

④犬は4つのハードルを跳び越え、ボックスのペダルを踏み、ボールを唾えたまま4つのハードルを跳び越え、戻ってくるものとします。

⑤走行中の犬が、ハードルを転倒させた場合は、そのハードルが立っていると仮定して跳び越えていなければ失敗とはなりません。ただし、メンバーは走行の妨害又は誘導とならない限り、ハードルを立て直すことができます。

⑥犬の身体の一部が、スタート・フィニッシュラインを通過した場合にゴールとします。⑦妨害により、当該ヒートのタイムが計測できなかった場合は、再度ダミー犬と残りのヒートを行うものとします。

6. 違反

チーム競技において、出陳犬が次の何れかに該当した場合、当該犬はチームの最後尾で再度走らなければなりません。

①出陳犬がフライングと判断された場合。

②出陳犬がいずれかのハードルを跳び越えなかった場合。

③出陳犬がボックスのペダルを踏まなかった場合。

④出陳犬がボールを唾えずにフィニッシュラインを通過した場合。

⑤ハンドラーの足がスタート・フィニッシュラインを越えた場合。ただし、ハードルを立て直す場合又はボールを拾う場合を除きます。

⑥ハンドラー又はボックスローダーによるアシストがなされた場合。個人競技において、出陳犬が次の何れかに該当した場合、そのヒートは無効となります。

①出陳犬がフライングと判断された場合。

②出陳犬がいずれかのハードルを跳び越えなかった場合。

③出陳犬がボックスのペダルを踏まなかった場合。

④出陳犬がボールを唾えずにフィニッシュラインを通過した場合。

⑤ハンドラーの足がスタート・フィニッシュラインを越えた場合。⑥ハンドラー又はボックスローダーによるアシストがなされた場合。

7. ヒートの中止

競技中、メンバー又は出陳犬が次の何れかに該当した場合、当該チーム又は当該犬のヒートは中止となります。

①出陳犬が競技中に意欲を見せない場合。

②出陳犬がレーンに排泄した場合。

③出陳犬が逸走した場合。

④出陳犬又はチームのメンバーが、一方の出陳犬又はチームを妨害した場合。ただし、出陳犬がボールを追うことは妨害と見なされません。

⑤メインジャッジが中止と判断した場合。

8. 失格

次の何れかに該当した場合、当該チーム又は当該犬は失格となります。

①出陳犬又はチームのメンバーによる妨害が重なった場合。

②メインジャッジが失格と判断した場合。

9. 規制

ハンドラーは次の行為を行ってはなりません。

①審査員に対する暴力行為及び暴言。

②出陳犬に対する暴力行為。

③審査中の関係者に対する抗議行為。

10. 成績

<特別表彰>

次の出陳犬に理事長賞を授与します。

①チーム競技の1席。

②個人競技の各カテゴリー1席犬の内から1頭。

<チーム>

1席～5席までを入賞とし、ロゼットを付与します。

<個人>

スモールミディアム・ラージの各カテゴリー毎の1席～10席までを入賞とし、ロゼットを付与します。

11. ボックスローダー・ヘルパー

<ボックスローダー>

①チーム競技並びに個人競技ともボックスローダーは、原則として当該チーム及び当該出陳者が用意します。

②ボックスローダーは、ボックスの後ろに位置し、ボックス後部板の末端に両足を載せている、もしくは触れている状態で直立し(別紙参照)、ボックスにボールをセットする時及び転がったボールを回収する時を除き、手を後ろに組んでいなければなりません。

③ボックスローダーは、声援により犬を勇気づけることができます。

④ボックスローダーは、審査員によりそのヒートが終了したことが宣言されるまで、所定の位置を離れてはいけません。

<ヘルパー>

チーム競技においては、ボールの回収及びハードルの設置を行うヘルパーを用意することができます。

12. フライボールチャンピオン(F B, C H)登録制度

(1) チーム競技で1席となったチーム4頭(ただし、決勝競技において2ヒート勝利することが条件となります。)にF B, C Hポイント5Pが付与されます。

また、個人競技のスモール・ミディアム・ラージ各カテゴリーのベストタイムの犬及びベストタイムに1.0秒加えたタイム以内で完走した犬にF B・C Hポイント3Pが交付されます。

(2) フライボールチャンピオン(F B・C H)資格の取得と登録

①F B, C H・Pを20ポイント以上取得した犬に与えられます。

②F B, C H取得に際しては、C D II以上(G D, I P O, B Hを含む)の訓練試験資格の登録をしなければなりません。加えて、D N A登録も必要となります。

(3) F B, C H登録資格を満たした犬の所有者には、資格条件確認通知を送付します。資格条件確認通知を受けた日から3カ月以内に登録を完了してください。登録料は3,400円です。

.....
競技会申込所 〒720-0821 広島県福山市東川口町3丁目10-10

小島茂樹 方

●TEL 084-954-3140 / 050-8023-0886
●MOBILE 090-3740-7499

.....
主催 ● 西日本ブロック訓練士協議会 担当 ● 中国ブロック訓練士協議会

